



近畿島根県人会
だより
第101号

令和6年
5月8日発行

一般社団法人しまね協力隊ネットワーク 運営メンバー

代表理事
三瓶裕美 (雲南市OG)
副代表
西嶋一泰 (大田市OB)
曾我瞭 (川本町OB)
事務局長
濱田達雄 (奥出雲町OB)



しまね地域おこし協力隊note
<https://shimane-pref.note.jp/>
QRコード

「地域おこし協力隊」という言葉を聞いたことはありませんか？「地域おこし協力隊」とは都市部に住んでいる人が少子化や過疎化などの課題を抱える地域に移住して、「地域協力活動」を行いながら定住・定着を図る取り組みです。平成21年度に総務省が制度化し、全国各地の地方自治体（主に市町村）が実施主体となつて隊員を募集し、令和5年度は全国で六〇〇〇人を越える隊員が活動。島根県では19市町村全てで取り組み、約二五〇名が活動しました。

地域おこし協力隊のネットワークで島根を元気に！

しまね協力隊ネットワークは、地域おこし協力隊の現役隊員・OB OGと、その活動を応援する人たちのネットワークグループとして平成24年に立ち上がりました。つながり、ともに学ぶ場をつくり、協力隊の活動や島根での暮らしがより良いものになるよう協力し、隊員が入った地域や団体、そして自治体により良いものなることを目指しています。現在の活動は島の地域おこし協力隊サポート事業に関する企画・運営を行うほか、市町村からの依頼に応じてより良い制度運用のための支援を行っていきます。また、移住促進や関係人口創出、地域づくりに関連する事業にも、県内全域のネットワークを活かして参画しています。

地域おこし協力隊になる人は、制度初期は島根県出身者ではない「Uターン」の人が主でしたが、近年は島根県出身者の「Uターン」や、親御さんが島根出身者である「孫ターン」が増え

ています。隊員として地域協力活動を行うことで、改めて地域の魅力を発見したり、仲間づくりをすることに役立っています。

島根県ではWebメディアのnoteを活用して、地域おこし協力隊の募集情報や活動情報を発信しています。島根をより元気にする活動として、ぜひご注目ください！



島根県地域おこし協力隊活動発表会 アーカイブ映像
<https://www.youtube.com/watch?v=rJDBmRs0cas>



【お問い合わせ】

一般社団法人しまね協力隊ネットワーク

shimaneknw@gmail.com

日本一の山城！

2024年、津和野城は築城700年を迎えます

津和野町は、山陰の小京都として毎年多くの方にお越しいただいております。歴史ロマンを楽しむことができます。

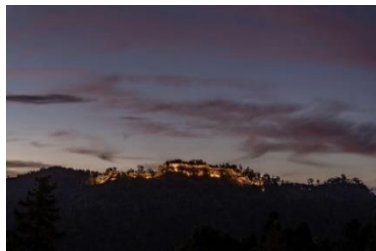
この町のシンボルともいえる津和野城は、現在は石垣が残るのみですが、標高三六二mの霊亀山(れいきさん)の山頂からは眼前に赤い石州瓦の街並みが一望できる人気の観光スポットの一つです。

その津和野城は今年で七〇〇年の節目の年を迎えており、津和野町ではこれを記念して様々な事業を予定しています。

山頂へは、麓にある観光リフトを使って徒歩約15分の道のりを歩くか、整備された自然歩道を約50分の道のりで到達で



城跡の山頂から町を一望



ライトアップで夜空に写し出される城跡



ユネスコ無形文化遺産に登録された鷺舞は7月催行

きます。道中、山道は尾根に沿ってのびており、城の遺構である堀切や城郭の跡を見ることができ、この城が実践的な山城として築城されたことを実感でき、専門家の方から「往時の石垣が残るなどその迫力は日本一である。」と評価をいただいております。

近年は、早朝の城跡へ登るガイドツアー「Asageshiki (アサゲシキ)」が人気です。午前7時から自然歩道を歩き、山頂で朝ごはんを食べるこのツアーでは、山の植生や城の歴史などを専門ガイドが案内します。

山頂では、まだ誰も登ってこないほぼ貸切状態の山頂で、地元食材をつかった贅沢な朝ごはんを楽しむことができます。早朝の澄んだ空気の中、少し温まった身体を冷ましながらか、おなかを満たして、ちよつとのんびりした贅沢時間を過ごすことができます。

七〇〇年の節目の年を迎える津和野城。6月には花菖蒲の見ごろを迎え、7月にはユネスコ無形文化遺産に登録された鷺舞神事を見ることができ、どちらも一年でこの時期でした見ることのできない貴重な姿となっています。

島根への帰省・ご旅行の際には、ぜひとも津和野町へ足を延ばしてみてください。みなさまのお越しをお待ちしております。



殿町通りの堀割を泳ぐ鯉

【お問い合わせ】
津和野町商工観光課
TEL..085617210652

「神紅」の魅力

神様が集まる国の紅いぶどう

「神紅」の魅力
太陽の光をふんだんに浴びることによって生まれる鮮やかな紅色の果皮と、大粒で種がなく、皮ごと食べられ、何ととっても20度以上の高糖度、紅茶のような芳醇な香りが魅力です。

島根県産のオリジナルぶどう

「神紅」のブランド化

10年の歳月をかけて生み出された島根県オリジナルぶどう品種の「神紅（しんく）」は、島根を連想させる神話や神楽の「神」と鮮やかな赤を表す「紅」を組み合せ、名付けられました。



島根県オリジナルぶどう「神紅」

島根県では、「神紅」を島根のぶどうの新たな顔として、全国に情報発信するため、生産者や関係機関とともに産地戦略推進協議会を立ち上げ、出荷開始時から専用のカラーチャート（色見本）で基準をクリアしたもののみを「神紅」として出荷するなど、ブランド価値を高める活動を推進しています。

ブランドコンセプト「神紅」から始める 「ものづくり・ひとづくり・まちづくり」

県内の各産地では、ぶどうを生産して販売する「ものづくり」だけの取り組みにとどまらず、新規就農者の積極的な受け入れによる「ひとづくり」や、地域産業との連携による「まちづくり」の取組も進めています。

また、大手化粧品会社、島根大学、島根県の3者による連携で「神紅」をつかったハンドコンフィチュール（ハンド美容液）が商品化されており、美肌県にふさわしいアイテムとして人気を博しています。

7月～8月にお近くの店舗でシャインマスカットの隣に並ぶ鮮やかな「神紅」をぜひ手に取ってみて下さい。きっと、島根の将来を担うぶどうと、お気づきになるはずです。



神紅の栽培風景

【お問い合わせ】
島根県産地支援課
TEL・0852-22-5125

世界が認めた隠岐の魅力



ローソク島（夕日）

隠岐は大山隠岐国立公園に指定された雄大な海岸風景と後鳥羽上皇、後醍醐天皇がご配流となった歴史的背景によって観光地として知られていますが、そもそも何故隠岐だったのでしょうか。これまで私たちは、隠岐は離島であり辺鄙な島、貧しい島だからという事で学んできましたが本当にそうなのでしょうか。

平安時代以降、天皇の即位式には隠岐のアワビが供えられ、大臣クラスのパウナスは隠岐のアワビで知事クラスはもらえませんでした。また、全国の神社は隠岐のアワビをもらって始めて神事ができるなど最高級品として用いられていました。隠岐はその当時の都であった奈良、京都から見て北西の方角（戌亥の方角・吉兆をもたらす方角）であったからなのです。討幕運動を起こすほど力を持った天皇であったため、簡

単には帰ってこれない離島である必要があったのですが、天皇なので崇りが怖く、良い方角であることが必須であり、更には長く生活してもらうために豊かな場所である隠岐が選ばれたことが推測できるのです。



当時の都からの方角が重要であった

隠岐は小さな島でありながら様々な資源が凝縮して詰め込まれているため、隠岐諸島の成り立ちを知ることによって、日本海や日本列島の成り立ちを知ることができ、地球規模の環境変化、更には地球の内部の事も知ることができます。近年、隠岐の植物分布も注目されています。北海道のハマナスと沖縄のナゴラン、亜高山性の植物、大陸系の植物が海岸の低地で共存するなど

他の地域では観察することができない不思議な植物分布をしているのです。また、隠岐産黒曜石を通じた遥か3万年前からの人々の暮らしなどが認められて2013年に世界ジオパークに認定されました。



業務執行理事 野邊一寛

【お問い合わせ】

一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構
TEL 08512121157

こんにちは 関西知夫会 です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。
第36回は、「関西知夫会」のご紹介です。



関西知夫会
会長 木下 孝

ふるさと「知夫」との懸け橋を目指して
我が故郷・島根県隠岐郡知夫村は、日本海に浮かぶ隠岐諸島の最南端に位置し、1島1村の人口約六〇〇人の小さな島です。あるテレビの旅番組で「隠岐の楽園」と紹介されるほど風光明媚な島でもあります。

毎年10月の第3日曜日、大阪キャッスルホテルにて「関西知夫会総会」を開催しています。

令和5年度は10月15日に、平木村長、近畿島根県人会千代会長をはじめ多数の来賓のご臨席の下、ふるさと民謡「西谷信ちゃん一座」に出演していただき総会懇親会を開催しました。



関西知夫会総会【にわか踊り】

総会には島人口の約16%強の97人が、ホテル別室での2次会には54人が出席し、約6時間に渡って「食べて・飲んで・語って・歌って」の大宴会で、コロナ禍を吹き飛ばす程の大いなる盛り上がりを見せてくれました。



本土を望む【赤ハゲ山展望台】

関西での登録会員は約二二〇人ですが、この数年会員の高齢化・コロナ禍等の影響で、案内辞退者が毎年数名出ています。このような状況において、ふるさと会「参加者一〇〇人」を目標とし、特に若手会員の勧誘に力を入れ、この4〜5年で20人程が新たに参加するようになり、その半数の10人（40代〜60代前半）が役員に名を連ねています。

具体的な勧誘方策は、下濱事務局長をリーダーに、毎年盆シーズンに帰省する島出身者に、フェリー乗り場で10月の総会の案内をする「波止場外交」を地道に展開しており、その成果が現れはじめたと認識しております。

総会以外の活動として、令和5年7月

と令和6年2月に、あべのハルカス近鉄本店で開催された「ハルカスラーメンリレー」に、「らあ麺ちぶ里島」が2週間出店していたので、役員有志で応援に駆け付けました。



あべのハルカス【らあ麺ちぶ里島】

年齢を重ねるごとに、「ふるさとは遠き」にありて思うもの」の感が増してきますが、関西知夫会での活動が、ふるさと「知夫」との懸け橋になれるよう努力していく所存です。



国の天然記念物【名勝知夫赤壁】

【お問い合わせ】

関西知夫会 下濱事務局長

TEL..090-7879-5954

イベント情報

【空楽フェスタ】

就航地である出雲市、益田市、隠岐の島町からも参加し、飲食や物販を行います。

また、県ブースでは、お楽しみ企画を用意しています。

(日時) 5月18日(土) 10時～16時

(場所) 大阪国際空港ターミナルビル

【中四国9県観光物産展】

島根県では、海の幸や山の幸など販売します。ぜひ、お立ち寄りください。

(日時) 5月25日(土)・26日(日)

(場所) プレンティ 西神中央

【しまね観光列車&観光物産展】

今年もしまねの観光列車の運行を予定していますので、ぜひご乗車ください。

また、万博記念公園駅構内では、観光物産展を行います。

(日時) 9月7日(土)

(場所) 大阪モノレール 万博記念公園駅

※詳細は、大阪事務所公式X(旧ツイッター)、インスタグラム(関西しまね推し)をフォローしてご確認ください。

移住・学生就職相談

県内への移住希望者、就職を希望する学生の相談窓口を設けております。ご友人・ご親戚などお近くの希望者へ是非ともお声がけください。*希望者の方はまずはお気軽に大阪事務所へお電話ください。

(TEL) 06・6361・3937

私たちがお聞きします!



近畿島根県人会事務局からのお知らせ

【近畿島根県人会 会員募集】

お知らせの方で当県人会にご興味ある方がおられましたら、事務局までご連絡ください。活動内容や入会方法等をご説明します。

※市町村会の方で、県人会未加入の方へぜひお声がけ願います。

【近畿県人会ホームページのご案内】

近畿島根県人会ホームページでは、近畿島根県人会の紹介、活動報告、市町村人会・県人会、お知らせ、イベント情報、縁結び

※ぜひ、ホームページもご覧ください。



ホームページ QRコード

【異動の連絡】

住所・連絡先等に変更がございましたら近畿島根県人会「会報」巻末の『異動通知連絡票』ご提出ください。

ご理解とご協力をお願いいたします。

イベント開催報告



WEST EXPRESS 銀河 特別展示
京都鉄道博物館
令和6年3月9日(土)



あべのハルカス近鉄百貨店
島根フェア
令和6年4月17日(水)～21日(日)



OAPさくらまつり
令和6年3月29日(金)～31日(日)
4月6日(土)・7日(日)

神戸市営地下鉄三宮駅での観光PRキャンペーン
令和6年3月11日(月)

